

## [電脳はさみ／前景抽出選択]

### 1 [電脳はさみ]ツールで選択範囲を作成する

[電脳はさみ]ツールは、クリックした位置と次にクリックした位置の間を、画像の色の違いから自動で輪郭を判断します。リンクがはっきりしていると、曲がった形状でもかんたんに選択できます。

①サンプルデータを開きます。

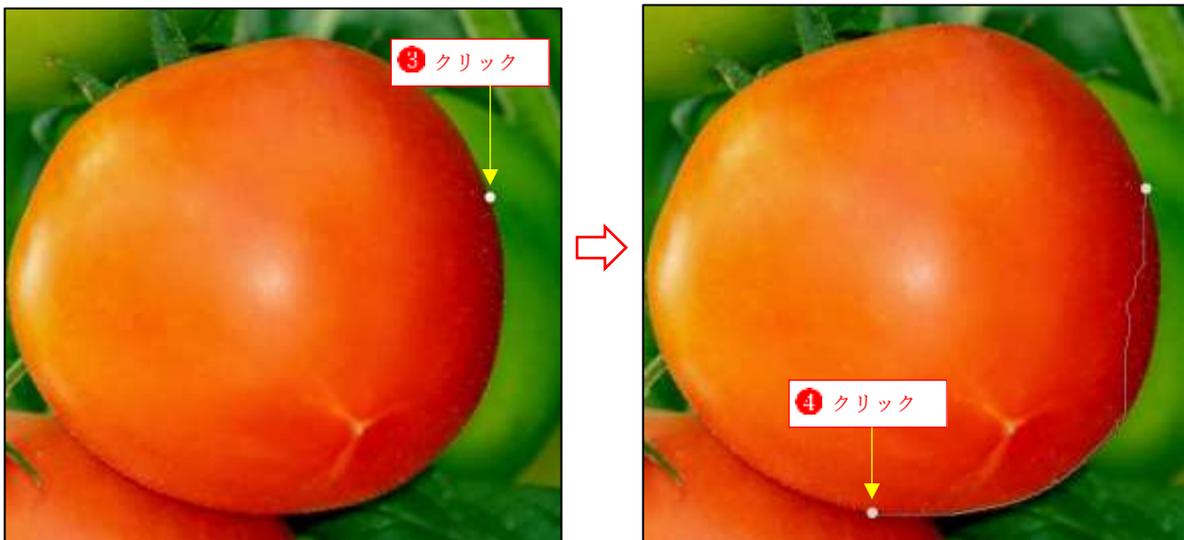
[ツールボックス]の[電脳はさみ]をクリックします①。



②[ツールオプション]ダイアログの[新規ノード追加時に境界を表示]にチェックを入れます②。



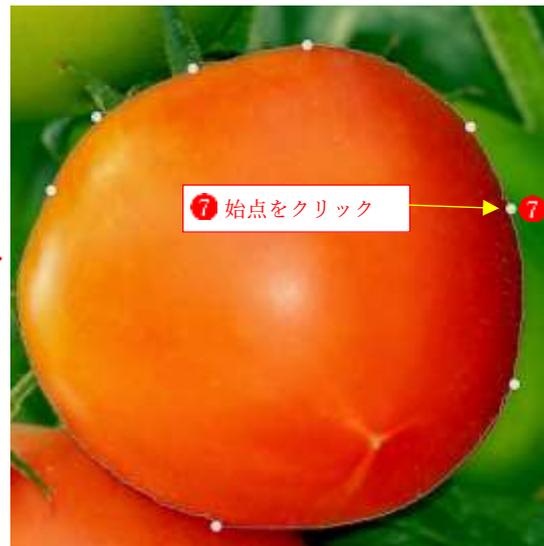
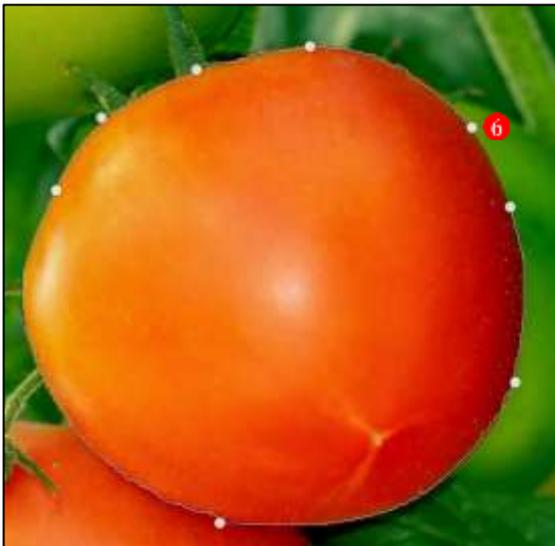
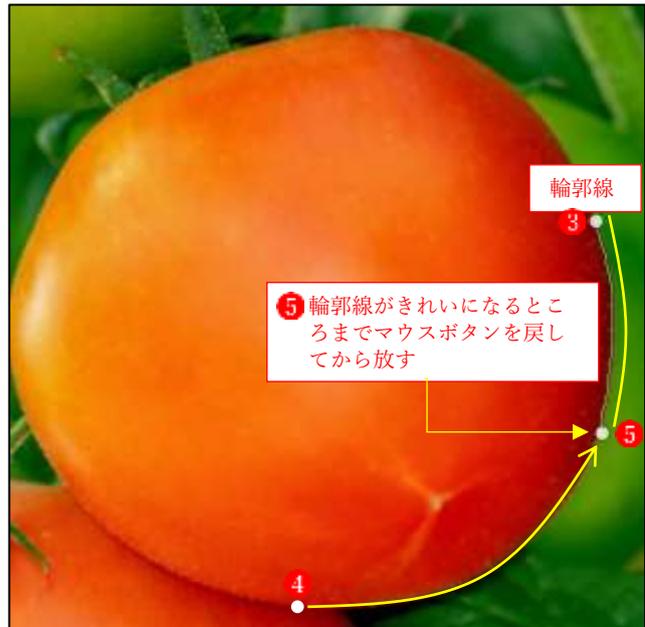
③トマトの輪郭をクリックします。続けて輪郭でマウスボタンを押し、押したままにします。2点間に線が表示されます。これが選択範囲の境界になります。魔王すボタンを放してポイントを確定します。



✚ ④で表示された輪郭線が期待どおりに  
ならない場合は、マウスボタンを押し  
たままをクリックした位置③に近づく  
ように移動し、輪郭がきれいになった  
位置⑤でマウスボタンを放します。  
Alt+Z キーで直前にクリックしたポイ  
ントを取り消すこともできます。

④これを続けて輪郭線を作成し⑥、最  
後に始点をクリックします⑦。Enter  
キーを押して選択範囲を確定します。

✚ Enter キーを押して選択範囲を確定す  
る前であれば、クリックしたポイン  
トをドラッグで移動して輪郭線を修正で  
きます。



## 2 [前景抽出選択]ツールで選択範囲を作成する

[前景抽出選択]は、大まかな範囲を指定後、そこから選択したい部分をラフになぞることで、被写体（前景）の選択範囲を作成します。

①サンプルデータを開きます。

帽子の選択範囲を作成します。[ツールボックス]の[前景抽出選択]をクリックします①。



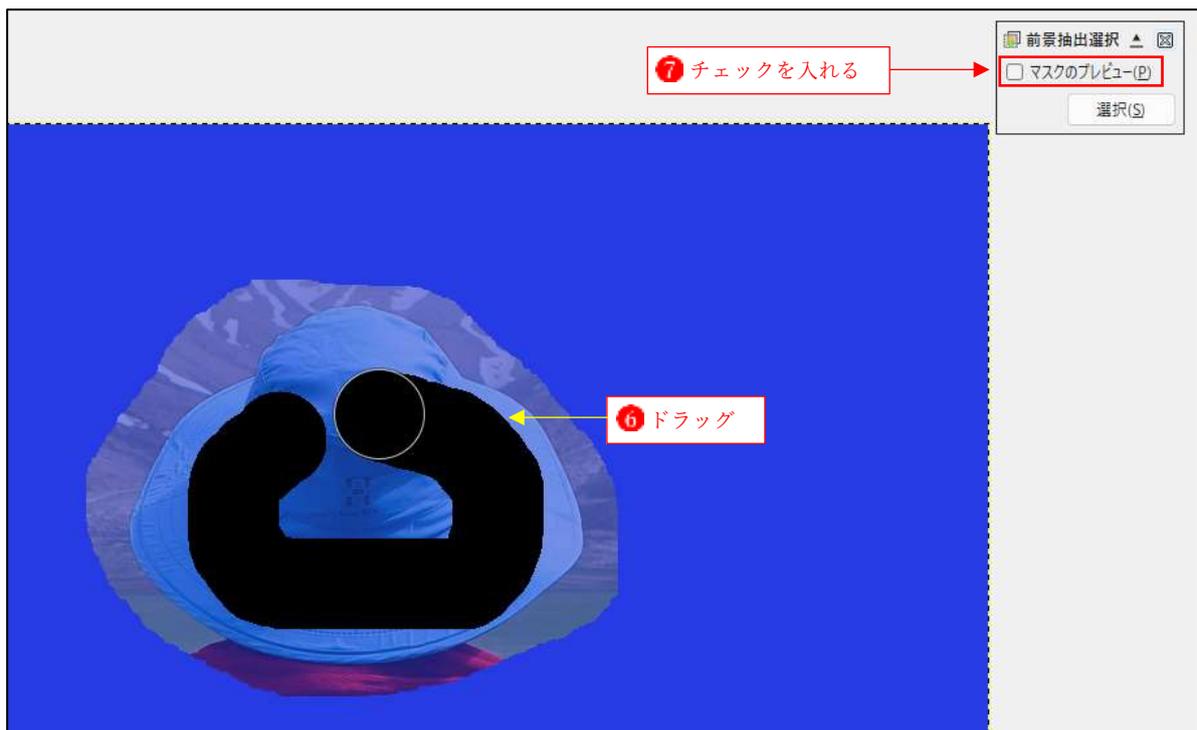
②[自由選択]ツールによる方法と操作方法で大まかに被写体を囲みます②。選択したい部分がすべて含まれるように囲みます。Enter キーを押して確定します③。



- ③ [ツールオプション] ダイアログで、[描画モード] の [前景を描画] を選択します④。 [ストローク幅] を [70] 程度にします⑤。



- ④ 選択したい部分でラフにドラッグします⑥。 [マスクのプレビュー] をクリックしてチェックを入れます⑦。



⑤画像の色がそのまま表示されている部分が選択範囲⑧、色が重なっている部分が選択範囲外⑨になります。

✚ 選択範囲外に重なる色は、初期設定では青です。選択範囲内、範囲外がわかりにくい場合は、[ツールオプション]ダイアログの[プレビュー色]でわかりやすい色を選択してください。ここでは赤の方がわかりやすいので、青から赤に変更してみました。



⑥範囲に追加したい部分で、ドラッグやクリックをして追加していきます⑨。さらに [ツールオプション]ダイアログの [描画モード]で[背景を描画]を選択してから、選択範囲に含めたくない部分をドラッグやクリックします。



⑥目的の範囲になったら Enter キーを押すか[選択]をクリックして、選択範囲を確定します⑩。

